

平成22年度 乳幼児の健康向上セミナー実施要綱

大阪開催

1. 目的

子育て相談の中で多いのが、発育・発達に関すること、睡眠・食事・栄養・排せつ等の健康保持・生活習慣に関すること、感染症等の病気やけがの処置・予防等である。本セミナーでは、乳幼児の健康向上を図るために、小児保健や生活習慣に関する理論と実際を学ぶとともに、保護者並びに地域の育児力の向上を図るための子育て支援に適切に対応できる保育者として、その資質の向上を図ることを目的とする。

2. 主催

社会福祉法人 日本保育協会

3. 共催

日本保育園保健協議会

4. 後援

厚生労働省、大阪府、大阪市、日本小児科学会、日本小児保健協会、日本小児科医会、大阪小児科医会、全国保育園保健師看護師連絡会、大阪府保育所保健連絡協議会（申請中）

5. 対象及び人員

保育所の所長、嘱託医、保健師・看護師、保育士、栄養士、調理員等全職種を対象とし、先着順に300名以内とします。

6. 期日及び場所

【期 日】 平成23年2月16日（水）・17日（木）の2日間

【場 所】 大阪国際交流センター

大阪市天王寺区上本町8丁目2番6号

電話：06-6772-5931

7. 研修内容

主な研修内容は、次のとおりとします。

【主題】 保育保健の向上と子育て支援

(1) 講演	講師
<p>I. たくましく育て、育つために － 育児相談のノウハウを学ぶ －</p> <p>育児情報は、雑誌、放送、インターネットなどを通じて容易に得られる時代となった。巷にあふれる情報は多いものの、現代のお母さんは子育てに自信を失っている。赤ちゃんのことをあまり理解できていないようにみえる。育児情報を活かすには、その前提として、月（年）齢に応じた子ども観と最低限の育児意識が必須である。現代の日本に特徴的な育児意識を検証しながら、子育てのあり方を考え、同時に育児相談のノウハウを学ぶ。</p>	<p>前日本保育園保健協議会 副会長・菅原医院院長 菅原 重道</p>
<p>II. 感染症の情報収集システム － 利用方法と活用の実例 －</p> <p>2010年4月、国立感染症研究所感染症情報センターからリリースされた「保育園欠席者・発症者情報収集システム」（保育園サーベイランス）。近隣保育園の感染症流行の兆しをいち早く捉えて、早期に対策を取り、感染の拡大を防ぐとともに、嘱託医と園とで情報を共有し、予防、治療に役立てることが期待されている。サーベイランスの導入、使い方について学ぶとともに、活用事例を聞く。</p>	<p>国立感染症研究所感染症情報 センター主任研究官 安井 良則</p>
(2) シンポジウム	役割者
<p>保育保健の課題と展望</p> <p>保育所保育の保健領域にスポットをあて、保育保健のあり方を関係者とともに考えて来た「保育所保育・保健推進セミナー」は、昨年をもって日本財団の助成事業に終止符を打ち、日保協の独自事業として継続することになった。今回は、助成事業として終止符を打ったセミナーの役割を回顧するとともに、これからの保育保健の課題と展望について、関係者に話し合っていただく。</p>	<p>日本保育園保健協議会副会長 ／小田原市・浜町小児科医院 理事長 遠藤 郁夫 大阪府保育所保健連絡協議会 副会長 小野寺芳子 交渉中</p>

(3) 分 科 会	講 師
<p>第1分科会 保育所における看護師の役割</p> <p>「保育所保育指針」では、保健計画の策定から健康管理、医学的対応まで保育所保育の内容として明記された。看護師が配置されている場合には看護師が中心となり対応する業務となる。このように保育保健の意義が増しているが、看護職の配置は3割に過ぎない。看護職配置の意義と他職種との連携について話し合う。</p>	交渉中
<p>第2分科会 離乳食の取り扱い(離乳食のガイドラインを参考に)。</p> <p>離乳食の開始・進行については、厚労省から「授乳・離乳の支援ガイド」が公表され、「離乳食の進め方の目安」が提示されている。支援の基本は、授乳・離乳を通して、母子の健康の維持とともに、親子の関わりが健やかに形成されることが重要視されている。離乳食の進め方を学ぶとともに、保護者への食生活に関する相談・助言を通して、食への理解が深まるように支援していく方法を学ぶ。</p>	母子愛育会日本子ども家庭総合研究所栄養担当部長 堤 ちはる
<p>第3分科会 保護者とのコミュニケーションを円滑にするために —特に0, 1, 2歳児の保護者との連携を中心に—</p> <p>保育所は、入所している乳幼児の保護者と密接な連絡を取り、保育の内容等について保護者の理解及び協力を得るよう努めることとなっている。保護者との円滑なコミュニケーションを取るための伝え方、特に連絡帳の書き方などについてポイントを学ぶ。</p>	東京成徳大学准教授 塩谷 香
<p>第4分科会 乳幼児の運動発達と障害の早期発見、事故予防</p> <p>乳幼児の運動発達を正しく理解していなければ、保育実践も保護者の相談にもうまく応えられない。特に2, 3歳までの子どもの運動や発達の基本的な事柄を学び、障害の早期発見、事故予防について考える。</p>	日本保育園保健協議会副会長 /小田原市・浜町小児科医院 理事長 遠藤 郁夫

8. 費 用

- (1) 参加費は、6,000円とします。
- (2) 通修参加とし、交通費は参加者負担とします。宿泊を希望する方には、「11. 宿泊等のご案内」によりトップツアー株式会社新宿支店が宿舍を斡旋します。

9. 申 込

別紙の所定様式により、平成23年2月1日（火）までに、FAXもしくは郵送（必着）にて次記に申し込むものとします。

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7丁目5番25号 西新宿木村屋ビルディング
トップツアー株式会社 国際旅行事業部 新宿支店
乳幼児の健康向上セミナー事務局
(担当者：黒田／西村又はセミナー担当まで)
電話：03-5348-3500(代) FAX：03-5348-3799

10. 振 込 先

経費の振込は、参加申込書到着次第、トップツアーより参加票とともに所定の振込用紙をお送りいたしますので、その用紙で平成23年2月8日（火）までに振込んでください。但し、口座番号及び名称は下記のとおりです。

[口座番号] 00140-9-601395
[名 称] トップツアー株式会社 新宿支店

平成22年度 乳幼児の健康向上セミナー日程表

時間	9	10	11	12	13	14	15	16	17
日割	30	30	30	10 30	30	30		40	30
第1日 2月16日 (水)			受付	開 会 式	講演 I	シンポジウム			
第2日 2月17日 (木)	講演 II		休憩	分科会（4分科会）					

11. 宿泊等のご案内

宿泊をご希望の方は別紙申込書にご記入のうえ、トップツアー新宿支店 担当者：黒田又は西村までお申し込みください。ご利用いただく宿舎は次のホテルです。

日付	ホテル名	申込記号	宿泊料金（1人）	備 考
2月16日	シェラトン都ホテル	ア	シングル 16,000円	会場より徒歩7分
		イ	ツイン 12,000円	
2月16日	ホテルアウイーナ大阪	ウ	シングル 10,500円	会場より徒歩3分
		エ	ツイン 8,400円	

- （1） 宿泊料金には、朝食・税金・サービス料が含まれています。
前泊（2月15日）及び後泊（2月17日）についても承ります。
また、上記以外のホテルご希望の方は希望ホテル名をお書き下さい。
- （2） お申し込み受付は、平成23年2月1日（火）までに別紙の所定様式によりお申し込みをされ、平成23年2月8日（火）までに所定の経費が振込まれた方とさせていただきます。

別紙

平成22年度 乳幼児の健康向上セミナー申込書

大阪開催

標記のセミナーに下記のとおり申し込みます。

受付番号

No.

申込日 平成 年 月 日

参加者名 (フリガナ)	男・女 (○印のこと)
勤務先名	
所在地 〒 電話 FAX	
職名	
参加票を受け取る 住所	〒
希望分科会	1・2・3・4 (第1希望に◎ 第2希望に○印のこと) ※分科会の決定は先着順とさせていただきます。会場の収容席数により、必ずしもご希望にそえない場合がございますのであらかじめご了承下さい。

項目	内容	経費
参加費	¥6,000	¥6,000
宿泊等 (○印のこと)	1. 宿泊を希望する ご希望のホテル、お部屋のタイプ [] の申込記号をご記入下さい。 宿泊日 ・ 2/15 (前泊) ・ 2/16 (当日) ・ 2/17 (後泊)	¥
	2. 宿泊は希望しない	合計金額 ¥

* 宿泊等についてご希望(部屋のタイプ、ツインの場合の同室希望者、JR券、航空券等)があれば、ご記入ください。
